

2 調 査 広 聴

(1) 県 政 世 論 調 査

県民の意識を的確に把握し、施策に反映するため、県政世論調査を実施しました。その結果概要については、「平成30(2018)年度栃木県政世論調査結果の概要」(平成30(2018)年10月広報課発行)により、既に報告していますが、昭和46(1971)年度から時系列調査として行っている「暮らしの変化」及び「県政への要望」について、抜粋して掲載します。

ア 調 査 の 概 要

(ア) 調査の目的

現在あるいは今後解決すべき課題について、県民の県政に対する意識・要望などを的確に把握し、県政施策の企画・立案及び県政執行上の参考にしました。

(イ) 調査項目 15項目 (全49問)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ① 暮らしの変化について〔時系列〕 | ⑨ とちぎの元気な森づくり県民税について |
| ② 県政への要望について〔 〃 〕 | ⑩ 障害者差別の解消について |
| ③ 日常生活について〔 〃 〕 | ⑪ 食の安全・安心について |
| ④ 栃木県への愛着・誇りについて | ⑫ 食品ロスの削減について |
| ⑤ 第77回国民体育大会開催について | ⑬ 食に関する意識と実践について |
| ⑥ 地域防災について | ⑭ 栃木県の景観づくりについて |
| ⑦ 青少年の健全育成について | ⑮ 犯罪と治安対策について |
| ⑧ 男女平等意識について | |

(ウ) 調査の設計

- | | |
|--------|------------------------|
| ① 調査地域 | 栃木県全域 |
| ② 調査対象 | 満18歳以上の男女個人 |
| ③ 標本数 | 2,000 |
| ④ 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| ⑤ 調査方法 | 郵送法(郵送配布一郵送回収) |
| ⑥ 調査時期 | 平成30(2018)年5月21日～6月12日 |

(エ) 調査機関 株式会社エスピー研

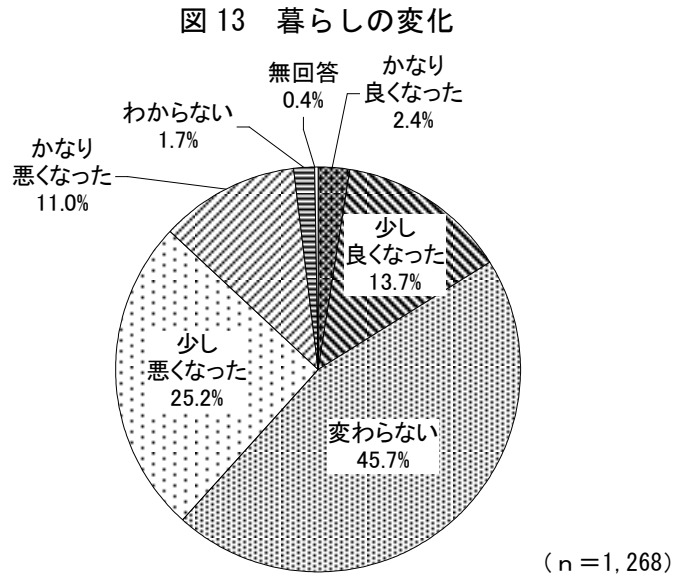
(オ) 回収結果

- | | | | |
|----------|---------------|---------------|-------|
| ① 回収数(率) | 1,268人(63.4%) | | |
| ② 回答者の内訳 | | | |
| ○ 性別 | ○ 年齢 | ○ 職業 | |
| 男性 46.7% | 18～19歳 1.5% | 農林漁業 | 3.4% |
| 女性 51.7% | 20歳代 6.1% | 商工サービス業・自由業 | 11.4% |
| 無回答 1.6% | 30歳代 12.0% | 管理職・事務職・専門技術職 | 25.0% |
| | 40歳代 16.2% | 労務職 | 17.9% |
| | 50歳代 16.2% | 家事 | 20.4% |
| | 60～64歳 10.8% | その他の無職・学生 | 17.5% |
| | 65歳以上 35.5% | 無回答 | 4.3% |
| | 無回答 1.7% | | |

イ 調査の結果

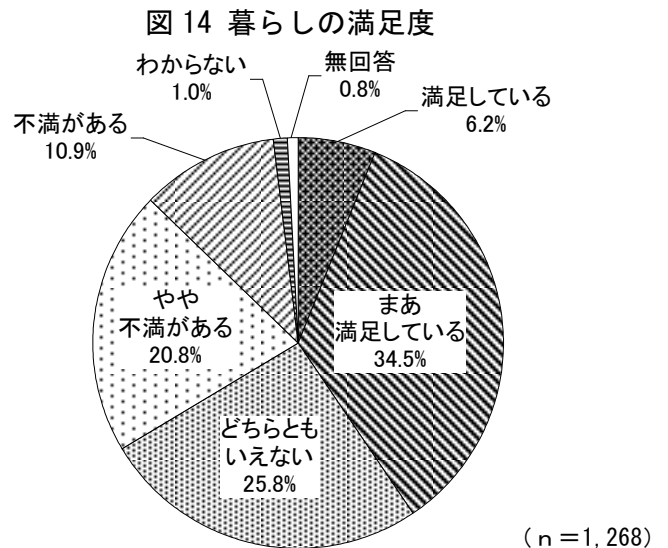
(ア) 暮らしの変化

「かなり良くなった」(2.4%)と「少し良くなった」(13.7%)の2つを合わせた『良くなった』(16.1%)は1割半ばとなっている。一方、「少し悪くなった」(25.2%)と「かなり悪くなった」(11.0%)の2つを合わせた『悪くなった』(36.2%)は3割半ばとなっている。また、「変わらない」(45.7%)は4割半ばとなっている。



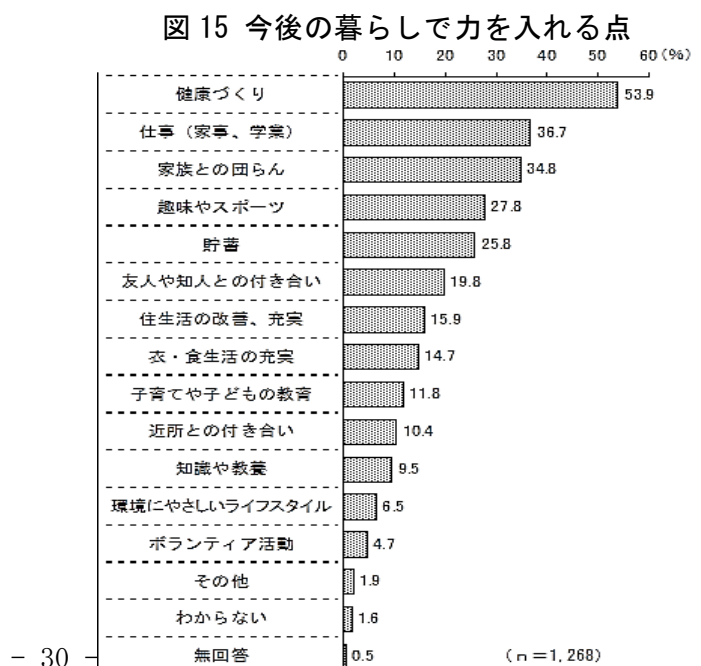
(イ) 暮らしの満足度

「満足している」(6.2%)と「まあ満足している」(34.5%)の2つを合わせた『満足している』(40.7%)はほぼ4割となっている。一方、「やや不満がある」(20.8%)と「不満がある」(10.9%)の2つを合わせた『不満がある』(31.7%)は3割を超えている。また、「どちらともいえない」(24.9%)は2割半ばとなっている。



(ウ) 今後の暮らしで力を入れる点

「健康づくり」(53.9%)が5割を超えて最も高く、次いで「仕事(家事、学業)」(36.7%)、「家族との団らん」(34.8%)、「趣味やスポーツ」(27.8%)、「貯蓄」(25.8%)の順となっている。



(エ) 県政への要望

「高齢者福祉対策」(58.4%)が6割近くで最も高く、次いで「医療対策」(49.9%)、「雇用の安定と勤労者の福祉」(36.7%)、「子育て・少子化対策の充実」(34.5%)、「防犯対策」(30.9%)、「学校教育の充実」(30.1%)、「防災対策」(25.6%)、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」(24.7%)の順となっている。

図 16 県政への要望

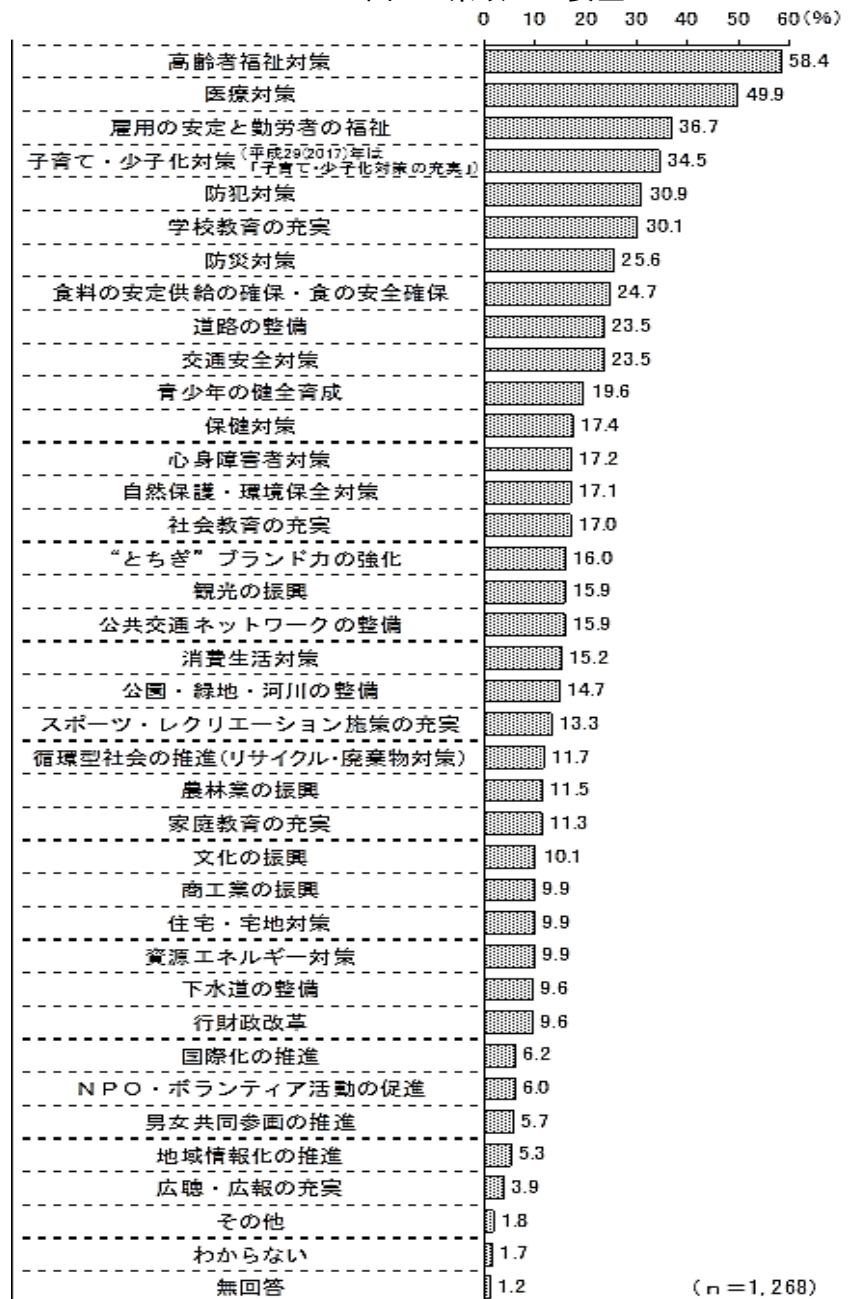


表 15 県政への要望の推移

順位 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成30(2018)年	高齢者福祉対策 58.4%	医療対策 49.9%	雇用の安定と勤労者の福祉 36.7%	子育て・少子化対策 34.5%	防犯対策 30.9%
平成29(2017)年	高齢者福祉対策 58.8%	医療対策 50.8%	雇用の安定と勤労者の福祉 37.0%	子育て・少子化対策の充実 34.1%	学校教育の充実 31.1%
平成28(2016)年	高齢者福祉対策 60.6%	医療対策 50.4%	雇用の安定と勤労者の福祉 40.9%	子育て・少子化対策の充実 38.7%	防犯対策 34.2%
平成27(2015)年	高齢者福祉対策 59.7%	医療対策 50.5%	雇用の安定と勤労者の福祉 41.7%	消費生活の安定 38.5%	子育て・少子化対策の充実 36.9%
平成26(2014)年	高齢者福祉対策 57.6%	医療対策 51.7%	雇用の安定と勤労者の福祉 45.4%	消費生活の安定 38.0%	子育て・少子化対策の充実 35.8%

(2) とちぎネットアンケート

県民の皆さんの意識やニーズを把握し、県民協働による県政の推進を図るため、インターネットを利用した「とちぎネットアンケート」事業を平成22年度から実施しています。

年8回程度のアンケート調査を通じて、県が直面している重要な課題について、協力者の方が日頃感じていることや、考えていること、意見などを聴き、施策推進等の参考としています。

○応募資格等

ネットアンケート協力者は、県内にお住まいの16歳以上の方で、日本語による電子メールの利用ができる方です。随時応募を受け付けており、定数や任期はありません。

ネットアンケート協力者数は、平成30(2018)年度末で310名です。

表16 とちぎネットアンケート実施状況 (平均回収率:61.5%)

回	テーマ (担当部局)	実施期間	回答者数 (対象者数)	回収率
第1回	ヘルスケア (産業労働観光部)	5月9日(水)～5月22日(火)	220名 (327名)	67.3%
第2回	野菜の食べ方 (農政部)	6月1日(金)～6月14日(木)	213名 (327名)	65.1%
第3回	第22回全国障害者スポーツ大会 (保健福祉部)	6月25日(月)～7月8日(日)	197名 (328名)	60.1%
第4回	次世代自動車の普及促進 (環境森林部)	7月17日(火)～7月30日(月)	217名 (336名)	64.6%
第5回	在宅医療、地域包括ケアシステム (保健福祉部)	8月9日(木)～8月22日(水)	211名 (342名)	61.7%
第6回	「COOL CHOICEとちぎ」県民運動 (環境森林部)	8月31日(金)～9月13日(木)	214名 (346名)	61.8%
第7回	臓器移植普及推進 (保健福祉部)	9月25日(火)～10月8日(月)	204名 (347名)	58.8%
第8回	とちぎの元気な森づくり県民税 (環境森林部)	10月19日(金)～11月1日(木)	209名 (348名)	60.1%
第9回	かかりつけ薬剤師・薬局 (保健福祉部)	11月12日(月)～11月25日(日)	210名 (351名)	59.8%
第10回	統計調査に対する意識調査 (県民生活部)	12月7日(金)～12月20日(木)	209名 (348名)	60.1%
第11回	ヘルプマーク、ヘルプカード (保健福祉部)	1月8日(火)～1月21日(月)	201名 (348名)	57.8%